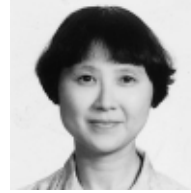




# 日本語のあいまいさ

## 文化的背景を学ぶ



黎雲華  
Li Yunhua  
上海市甘泉中学  
(中国、上海市)

### 授業のねらい

あいまいな表現の特徴と目的を学び、基本的なあいまいな表現を運用できる会話力を養成する。また、具体例を通じて感謝、謝罪、誘い、婉曲な断り方を身につける。あいまいな表現を使う背景について学び、日本人のつき合い上の感情表現を理解するとともに自国の文化を再認識する。さらに、思いやりの表現を学ぶことで、豊かな心を養う。

### 学習項目

#### 言語面

機能	表現	語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 感謝の気持ちを表す</li> <li>❖ 謝罪する</li> <li>❖ 誘う</li> <li>❖ 婉曲に断る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ どうも(ありがとう、すみません)</li> <li>❖ 特になんですが.....</li> <li>❖ ~たいんですが.....</li> <li>❖ 実は~ようと思っていたのですが.....</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ どうも、ちょっと、けっこう、いい</li> </ul>

#### 文化面

あいまいな表現の社会文化的背景を学ぶ  
日本語のあいまいな言語習慣を理解する

#### その他

つき合うときの思いやりを大切にして、豊かな心を養う

## レッスンプラン

### 用意するもの

テープレコーダー  
新しい練習帳

全日制普通高級中学教科書『日語』（人民教育出版社）  
ワークシート(資料\*)

### 授業の進め方

#### 事前学習

前回の授業で、OHPで日本語のあいまいな表現の背景を生徒に紹介した。「あいまい」「どうも」「傷つく」「スムーズ」「ちょっと」という単語を説明した。

#### OHPの内容

日本語では、直接的なことばを言ったり、否定的なことばを言ったりすることを避ける傾向がある。相手を傷つけたり、人間関係を壊したりしないようにあいまいな表現をする。日本人がはっきりと自分の考えを伝えられない理由は何か。日本人はグループの和を乱すような発言や行動をすれば、仲間から嫌われることになる。そこで、日本人の発言や行動は、よくいえば慎重、悪くいえばあいまいではっきりしない。日本人は、仲間や社会の和を保つように話したり、行動したりする。

#### 1. 生徒のスピーチ(5分)

授業の冒頭で、生徒に日本に関するテーマで5分間、日本語のスピーチをさせるようにしている。生徒は主に本から情報を入手する。スピーチを聞いたあと、スピーチをした生徒と聞き手の生徒で互いに質疑応答する。

#### 2. 朗読(4分)

全員に本文を朗読させて、教師は間違った発音を直す。

#### 3. あいまいな表現の練習(5分)

「どうも～」を使う場面を設定し、どう言ったらいいか生徒に答えさせる。

#### 場面1

教師が作文がよく書けた生徒に新しい練習帳を贈りました。

問い：生徒はどう答えますか。

答え：どうもありがとうございます。

#### 場面2

教師が生徒に教室用の練習帳を持っているかどうか聞いたところ、持っていない生徒がいました。教師は持っていない生徒に友だちから借りるように言いました。

問い：貸してもらった生徒はどう答えますか。

答え：どうも。

#### 場面3

教師が生徒の机の上に置いてあったペンを落としてしまいました。

問い：教師はどうあやまりますか。

答え：どうもごめんなさいね。

#### 場面4

教師が校長先生に不用意に軽くぶつかってしまいました。

問い：教師はどうあやまりますか。

答え：どうもすみませんでした/失礼しました。

#### 場面5

家族の一人が亡くなって、遺族が大変悲しんでいます。

問い：悲しんでいる遺族が気の毒で、なかなか言うことばが見つかりません。このようなときどう言いますか。

答え：どうも……。

#### 4. 資料1(5分)

資料1の対話を2人の生徒にさせて、問いに答えさせる。日常生活の会話を通じて、あいまいの意味とその使い方を理解させる。単語の置き換えによってさらに練習させ、定着させる。

#### 5. まとめ(5分)

1. 断りの表現をまとめる。生徒に今まで知っている断り方を紹介させる(「いい」「結構」「ちょっと」など)。
2. あいまいな表現をまとめる。教師の次の質問に答えさせる。
  - ❖ 「どうも」「いい」の使い方はいくつあるのか。
  - ❖ どうしてそういう表現をするのか。
  - ❖ あいまいな表現をうまく使うには何に気をつけるのか。

#### 6. 会話の練習(19分)

1. 『日語』本文の会話のテープを聞かせる。聞きとれるかどうかをチェックすると同時に、生徒の総合力を育成する。
2. 絵を見ながら指示に従ってロールプレイをさせる。

場面1：本文の会話に従う。

場面2：自分の家へギョーザを食べに来ないかと誘う。

場面3：電話で日曜の山登りに相手を誘う。誘わ

れた人はほかの人との約束があるので婉曲に断る。

場面4：コンピューターを教えてほしいと頼まれるが、忙しいので婉曲に断る。

3. ロールプレイのやり方としては次の方法が考えられる。

1. まず2人1組にして、四つの話題の中から二つ選んで会話をさせる。
2. 四つの話題について、それぞれペアを選んで発表させる。
3. 発表してから発音や対話の長所や欠点などを学習者同士で評価させる。

7. 宿題の指示(2分)

1. 次に挙げたことばを使って会話文を書かせる。  
「ちょっと」「いい」「けっこう」「どうも」
2. 日本語の「あいまいさ」について感想文を書かせる(100～200字)。
3. 教科書『日語』に掲載されている表現以外のあいまいな表現を調べさせる。

8. 評価

- ✧ 会話文作り
- ✧ 感想文

## 生徒の感想

これまでどう誘ったらいいか、どう対応したらいいか、どう婉曲に断ったらいいか、よくわからなかったが、今回勉強してよかった。

あいまいな表現を身につけなければ本当に日本語ができるとはいえない。

今までつき合う相手の気持ちを考えることはありませんでした。これから相手の気持ちによく気をつける必要があると気づきました。

選考委員会から

私たちは人とのコミュニケーションを円滑に行うために、いくつかの文化的な習慣にしたがって言語を運用しています。この文化的な習慣を無視して言語を使用すれば、たとえ文法的に正しくても、相手を不愉快にさせる場合があります。このようなことを避けるために、文化的な習慣をルールとして学ぶことが必要です。教師はビデオなどの視聴覚教材を使って、言語だけでなく日本人がどういう振る舞いをしているかを見せたり、テープなどの音声教材で語気についても知らせたりするといいいでしょう。次に、ルールの文化的背景を考えさせ、ルールに共感し理解するきっかけをつくるといいいでしょう。そして、最後に、実際の日本人との会話で生じそうな摩擦をどう乗り越えたらいいかかを考えさせる活動へと発展させていくといいいでしょう。

## ワークシート

1

男の人：砂糖さとうとミルクをい入れましょうか。

女の人：砂糖は結構けっこうです。

男の人：あ、わかりました。

問：男の人は何がなにわかりましたか。

5

王：お茶ちやにしましょうか、コーヒーにしましょうか。

鈴木：いいえ、水みずで結構です。

問：何にしますか。

2

女の人：コーラしお、塩か、コーヒーを買かってきてください。

男の人：はい。

女の人：あ、コーヒーはいいです。

問：男の人は何がわかりましたか。

6

田村：私いっしょと一緒にパーティーに行きませんか。

原島：行きたいんだけど.....。でも、宿題しゅくだいがあるので、早くはや終わおったら行くわ。

問：原島さんは行きますか。

3

李：ちょっとこのハンバーガー屋やで食たべていきませんか。

田中：いいですね。

でも、今日きょうはちょっと.....。

問：ハンバーガー屋いに行きたいのはどちらの人ですか。

7

李：あのう、すみません。

田中：はあい、あの、なにか。

李：あのう、もうしわけありませんが、あのう、ステレオですが、音おとが。

田中：あ、聞こえますか。

李：ええ、すみません。じつは今いま、試験しけん中ちゆうなんです、それで.....。

田中：あ、そうですか。すみません、気きをつけます。

問：田中さんは何に気をつけますか。

4

李：もういっぱいいかがでしょうか。

田中：結構です(もうけっこうです)、すみません(おねがいします/ありがとうございます/おそれいます)。

問：「けっこう」というのはどういう意味いみですか。「すみません」とは？